

議会便り 第2号 (1-2)

市内①

平成15年10月03日発行
東堂陽一 Tel. 23-3091

II. 市政トピックス

掛川市の抱える課題や問題の中から、いくつかについて意見を述べたいと思います。

I. 議会こよみ

議員活動の一部です。

- (7月)
29日 食用油リサイクルモデル地区の視察に行ってきました。
- (8月)
01日 静岡県市議会議員研修に参加。
02日 New! わかふじ国体告知パレードに参加 (掛川駅通り)。
7,8日 掛川市議会議員東京研修
15日 掛川市戦没者追悼式
18日 大東町、大須賀町タウンウォッチング
20日 総務委員会行政視察 ~22日まで
28日 中学校給食試食会
- (9月)
01日 総合防災訓練
03日 9月議会始まる。 ~10月02日まで
09日 県内国道1号線4バイパス無料化推進磐田大会
15日 地区敬老会
18日 総合体育館”さんりーな”落成記念式典
21日 スポーツフェスティバル(雨のため式典のみの実施となりました。)
28日 障害者・母子スポーツ大会
ならここの湯開館式

1. 9月議会終わる (9月3日~10月2日)

「67,762万円の増額補正予算」、「平成14年度一般会計及び特別会計決算」、「掛川市・大東町・大須賀町合併協議会の設置について」など17件の議案審議を行い議決しました。

・「一般会計補正予算」

自主運行バス補助金追加	2,881万円
地域環境整備調整費増	9,780万円
住宅用太陽光発電システム補助金増	700万円 等

2. 市町村合併

9月議会で、法で定める「掛川市・大東町・大須賀町合併協議会」の設置が承認されました。すでに

- ① 1市2町の対等合併
- ② 新市役所は現掛川市役所に置く
- ③ 新市名は全国公募する(9月16日に締め切りました。)

などが決まっていますが、全部で1,832項目にも及ぶ調整はこれから本番です。
今検討されているのは、

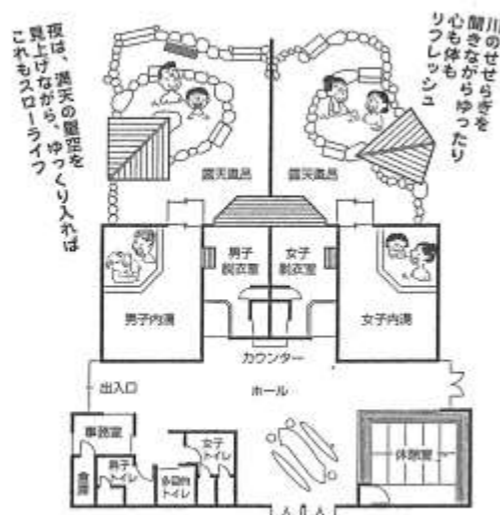
- ① 合併の期日
- ② 各種委員の定数・任期
- ③ 1市2町の特別職、一般職の身分の取り扱い

などがありますが、議会の議員の定数・任期もその一つです。

◆うら面もあります◆



森都温泉 ならここの湯



◆前のページの続きです◆

1市2町の議会の議員の任期はばらばらであり、また、1市2町の人口割合に差も有り、大東町、大須賀町のことも考慮したなかで、掛川市の議員の間でもさまざまな意見がでています。

議会の議員の定数・任期には特例がありますが、私個人の意見は特例を使わずに、定数は30名以下にするというものです。皆さんはいかがお考えでしょうか？

3. 二学期制検討される

9月議会での桑原議員の質問にもありましたが、小中学校の2学期制が検討されています。全国的にみると東北、関東地方で多く導入されており、現在全国の小学校の2%、中学校の3%で実施されています。2学期制のメリットは

- ①テストなどで忙殺される学期末が減ることにより時間が増える
- ②学校行事が組みやすくなる。
- ③継続的な学習をしやすい

ことなどが言われています。慣れ親しんだ制度からの変更は、感覚的には抵抗も有りますが、皆さんは如何でしょうか？

4. スローライフバス

市街地循環バスが走りだしてから4ヶ月がすぎましたが、好評を博しております。9月18日現在、一便あたりの平均乗客数は北回り15人、南回り9.4人、平均12.2人で当初予想の8人を大きく上回っています。私も乗ってみました、景色がいつもとは少し違う、新鮮な感じがしました。

5. 中学校給食

2学期から中学校給食が始まりました。試食会に参加しましたがおいしくいただきました。私たちの子供の頃の給食はあまり美味しくないという記憶でしたので、この給食が始まる前に、「栄養面も大事だが、味も充分留意してもらいたい」という要望をしましたが、合格点だと思います。

6. 廃食油リサイクル事業(モデル地区レポート)

来年から全市で実施予定の廃食油(てんぷら油)のリサイクルモデル事業が市内6自治会で行われています。事業の目的は、

- ①ごみの減量
- ②河川美^{*}
- ③リサイクル精製した”BDF”をパッカー車等に使用し排ガスグリーン化
- ④化石燃料と温室効果ガスの削減による地球温暖化防止

です。リサイクルした油(BDF)は当面、板沢の埋立場の重機燃料として使用します。モデル地区では、回収日まで保管が面倒などの意見が有りますが、まだ始まったばかりなのでこれからに注目です。

^{*} BDF・・・Bio Diesel Fuel = 廃食油からリサイクルされた燃料
(バイオ ディーゼル フュエル)

IV. まめ知識

平成12年国勢調査による

	掛川市	大東町	大須賀町	合計
面積	185.8km ²	46.1	33.7	約266
人口	80,217人(県内21市中7位)	21,791	12,320	約11.7万
世帯数	235,121	6,274	3,531	約36,000

位置

V. 最後に

桜が丘中学校に続いて、桜木小学校も来年創立50周年を迎えます。桜木小学校を卒業して35年、当時は木造の懐かしい校舎でした。過ぎてしまえばあっという間でしたが、多くの出来事がありました。これからも地域の学校として、地元と連携を取り合った運営をお願いしたいと思います。

議会便り 第2号 (1-2) 桜木①

平成15年10月03日発行
東堂陽一 Tel. 23-3091

II. 市政トピックス

掛川市の抱える課題や問題の中から、いくつかについて意見を述べたいと思います。

I. 議会こよみ

議員活動の一部です。

- (7月)
29日 食用油リサイクルモデル地区の視察に行ってきました。
- (8月)
01日 静岡県市議会議員研修に参加。
02日 New! わかふじ国体告知パレードに参加 (掛川駅通り)。
7,8日 掛川市議会議員東京研修
15日 掛川市戦没者追悼式
18日 大東町、大須賀町タウンウォッチング
20日 総務委員会行政視察 ~22日まで
28日 中学校給食試食会
- (9月)
01日 総合防災訓練
03日 9月議会始まる。 ~10月02日まで
09日 県内国道1号線4バイパス無料化推進磐田大会
15日 桜木地区敬老会
18日 総合体育館”さんりーな”落成記念式典
21日 スポーツフェスティバル(雨のため式典のみの実施となりました。)
28日 障害者・母子スポーツ大会
ならここの湯開館式

1. 9月議会終わる (9月3日~10月2日)

「67,762万円の増額補正予算」、「平成14年度一般会計及び特別会計決算」、「掛川市・大東町・大須賀町合併協議会の設置について」など17件の議案審議を行い議決しました。

・「一般会計補正予算」	
自主運行バス補助金追加	2,881万円
地域環境整備調整費増	9,780万円
住宅用太陽光発電システム補助金増	700万円 等

2. 市町村合併

9月議会で、法で定める「掛川市・大東町・大須賀町合併協議会」の設置が承認されました。すでに

- ① 1市2町の対等合併
- ② 新市役所は現掛川市役所に置く
- ③ 新市名は全国公募する(9月16日に締め切りました。)

などが決まっていますが、全部で1,832項目にも及ぶ調整はこれからが本番です。

今検討されているのは、

- ① 合併の期日
- ② 各種委員の定数・任期
- ③ 1市2町の特別職、一般職の身分の取り扱い

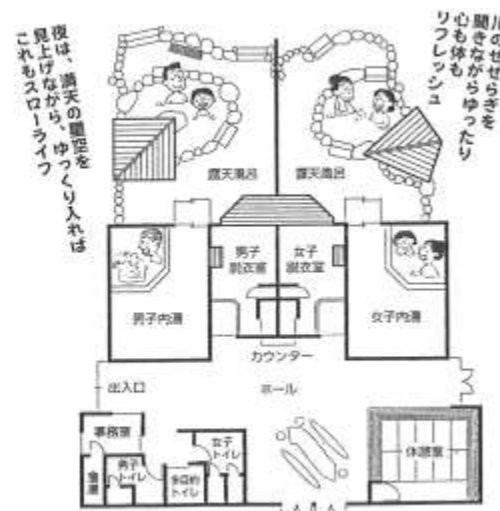
などがありますが、議会の議員の定数・任期もその一つです。

◆うら面もあります◆

東遠カルチャーパーク総合体育館 **さんりーな**



森都温泉 ならここの湯



◆前のページの続きです◆

1市2町の議会の議員の任期はばらばらであり、また、1市2町の人口割合に差も有り、大東町、大須賀町のことも考慮したなかで、掛川市の議員の間でもさまざまな意見がでています。

議会の議員の定数・任期には特例がありますが、私個人の意見は特例を使わずに、定数は30名以下にするというものです。皆さんはいかがお考えでしょうか？

3. 二学期制検討される

9月議会での桑原議員の質問にもありましたが、小中学校の2学期制が検討されています。全国的にみると東北、関東地方で多く導入されており、現在全国の小学校の2%、中学校の3%で実施されています。2学期制のメリットは、

- ①テストなどで忙殺される学期末が減ることにより時間が増える
- ②学校行事が組みやすくなる。
- ③継続的な学習をしやすい

ことなどが言われています。慣れ親しんだ制度からの変更は、感覚的には抵抗も有りますが、皆さんは如何でしょうか？

4. スローライフバス

市街地循環バスが走りだしてから4ヶ月がすぎましたが、好評を博しております。9月18日現在、一便あたりの平均乗客数は北回り15人、南回り9.4人、平均12.2人で当初予想の8人を大きく上回っています。私も乗ってみましたが、景色がいつもとは少し違う、新鮮な感じがしました。

5. 中学校給食

2学期から中学校給食が始まりました。試食会に参加しましたがおいしくいただきました。私たちの子供の頃の給食はあまり美味しくないという記憶でしたので、この給食が始まる前に、「栄養面も大事だが、味も充分留意してもらいたい」という要望をしましたが、合格点だと思います。

Ⅲ. 桜木の話

1. 廃食油リサイクル事業(モデル地区レポート)

来年から全市で実施予定の廃食油(てんぷら油)のリサイクルモデル事業が下垂木2区、3区でも行われています。事業の目的は、

- ①ごみの減量
- ②河川美化 *
- ③リサイクル精製した”BDF”をパッカー車等に使用し排ガスクリーン化
- ④化石燃料と温室効果ガスの削減による地球温暖化防止

です。リサイクルした油(BDF)は当面、板沢の埋立場の重機燃料として使用します。モデル地区では、回収日まで保管が面倒などの意見が有りますが、まだ始まったばかりなのでこれから注目です。

* BDF・・・Bio Diesel Fuel = 廃食油からリサイクルされた燃料
(バイオ ディーゼル フュエル)

2. 遊家配水池工事始まる

遊家上側組の西はずれに配水場の建設が始まっています。本年度は進入路の設置工事までの予定です。平成14年の長島ダムの完成により掛川市の水源は大井川の水への依存度が高まっていますが、これに伴う拡張計画によるものです。

Ⅳ. まめ知識

	桜木地区	大須賀町
世帯数	3, 274	3, 531
人口	10, 616人	12, 320人
男	4, 018人	
女	4, 032人	
	H13.3月末	H12国勢調査

Ⅴ. 最後に

桜が丘中学校に続いて、桜木小学校も来年創立50周年を迎えます。桜木小学校を卒業して35年、当時は木造の懐かしい校舎でした。過ぎてしまえばあっという間でしたが、多くの出来事がありました。これからも地域の学校として、地元と連携を取り合った運営をお願いしたいと思います。